

振興会だより

北海道千歳高等支援学校
進路指導・卒後支援振興会事務局
第8号

令和2年2月25日(火)

「四つ葉のクローバー（希望・誠実・愛情・幸運）に向かって」

校長 小嶋 義勝

例年になく雪の少ない令和最初の冬から、季節は旅立ちの春へと向かっています。卒業生の皆さんも、この季節は春を待ち望み新年度に向けて意欲が高まっていることでしょう。

今年度、7月27、28日に行われました一泊旅行には参加させていただきました。参加された卒業生の皆さんがとても生き生きとした表情で楽しんでいる姿を見て、学生時代も卒業後も誠実に生活されていることが強く感じました。とても大切に素敵なおことです。

残念ながら総会には参加できませんでしたが、令和2年度の体制が決まり、上野会長を中心に、様々な行事が企画されていくことでしょう。是非多くの皆様に参加していただき、力を合わせて(Collaboration) Clover(クローバー)の会を盛り上げていっていただきたいと思います。卒業生の皆様の活躍されている姿は、後輩達の夢であり希望となります。皆様の挑戦(Challenge)する姿、社会を創っていく(Creation)姿が本校の伝統になっていくことでしょう。伝統は先輩から後輩への愛情あふれる贈り物です。

このクローバーの会と本校の卒業生のますますの御活躍を心から願っています。
(挑戦 Challenge 創造 Creation 協働 Collaboration は千歳高等支援学校の校訓です)

「10年後の安らぎのために」

進路・卒後支援振興会 会長 城 真一郎

最近ネットでみかけた「今のあなたは未来のあなたが人生をやり直すために未来から戻ってきた姿である」という言葉が妙に心に響きまして。例えば「今の自分は10年後の未来から戻ってきたんだ」と考えると、日常生活の些細なことがすごく大切に無駄にしたくないことのように思えてきませんか。単純に歳をとって感傷的になっているだけなのかもしれませんが…。

でも、これは自分だけでなく子どもたちのことでもそうですよね。10年後の我が子が実際にどうなっているのかはわからないけど、こうなっていたらより穏やかに暮らせているだろうなあってことはいくつも想像できます。そうなるにはどうすればいいのか、今できることややるべきことは何なのか、そんなことを一緒に考えていけるような集まりこそがこの「クローバーの会」であつたらいいなあとと思います。

とはいいつつ、会長として今年一年なにも貢献出来なかったことを深く反省しています。クローバーの会のさらなる発展を祈念しつつ、在校当時からずっとお世話になってきた皆さまに対しあらためて深くお礼申し上げます。これまで本当にありがとうございました。

令和元年度 卒後巡回指導から

今年度も、春・夏・冬を中心に2回生～4回生の職場を訪問しました。社会に出て年数が経つほど、仕事の面では責任ある仕事を任せられたり、後輩を指導する立場になるなど、頼もしく立派な社会人として頑張っている様子を見ることができましたし、職場の方からも「必要な人材です」と嬉しい言葉をいただきました。

一方で、仕事にも慣れ、少し気持ちに余裕がでてくると、周囲のいろいろなことが目や耳に入り、不安を感じたり、仕事に消極的になっている様子も伺えました。社会に出ると、楽しいことばかりではなく人間関係や仕事の難しさなどから、いろいろなことで悩むことがあります。そういう時には、一人で抱え込まず、職場の方や家族または学校に相談することが大事です。

長く働くためには、御家庭での御協力が御支援が何より大切です。今後も、親として、社会人の先輩として暖かく見守っていただきたいと思います。



令和元年度 同窓会行事報告

その1 「一泊旅行」に行ってきました。

7月27日(土)から28日(日)の一泊二日で、「定山溪温泉 ホテル鹿の湯」に行ってきました。2回生15名が参加することができ、8名の先生方も同行し、とても楽しい旅行になりました。13:00に千歳駅に集合し、久しぶりに仲間や先生方と会い、嬉しそうな笑顔がたくさん見られました。

その後、定山溪温泉へとバスで向かいました。バスの中では、高校時代の楽しかった思い出話や辛かった話などで盛り上がり、久しぶりに仲間や先生方と話をすることができてとても楽しそうでした。ホテルに着いてからは、夕食まで自由時間でした。自由時間には、温泉に入ったり、部屋でのんびり仲間や先生方と話をしたりと充実した時間を過ごしていました。夕食は、バイキング形式でステーキや海鮮丼、デザートなど豪華な食事を楽しみ、お腹いっぱいになるまで食べて幸せそうな様子も見られました。

夕食後には、みなさんがお待ちかねの大宴会がスタートしました。近況報告では、現在の生活や仕事内容、仕事で頑張っていること、今後の目標などを報告し、自分の思いや考えを伝えることができ、一人一人の成長を実感することができました。カラオケ大会やビンゴ大会が始まると、この日一番の盛り上がりで好きな歌を歌うなどたくさんの笑顔が見られ、全員で宴会を楽しみました。その後の夜は、温泉に入ったり、仲間とテレビを見ながら話をしたりと楽しい時間を過ごしていました。翌朝の朝食後には、ホテルの売店で職場や家族にお土産を買っている様子が見られました。どのようなお土産を買ったら良いか悩んでいる姿から職場への思いが伝わってきました。

千歳駅に帰るバスの中でも、1日目の楽しかったことや高校時代の思い出話などで盛り上がっていました。千歳駅到着後は、少し寂しそうな表情も見られましたが、これからの仕事に向けて気持ちを切り替えている姿はとても素晴らしく感じました。今後も頑張っている仲間や応援してくれている人のことを思い出して頑張ってください！



その2 「同窓会新行事」行いました。

1月11日(土)に『千歳フジボウル』で同窓会行事がありました。今年は17名の卒業生が参加しました。久しぶりに顔を合わせる人も多く、この日を楽しみにしている様子を感じられました。働き始めて2年目に入った3回生と働き始めて10か月程が経過した4回生、それぞれの近況を話しながらボウリングを楽しみました。卒業生の中には初めての経験の方もいました。この機会に卒業後の余暇が広がるといいですね。経験の有無にかかわらず2ゲーム行い、ストライクやスペアを取るたびに、みんなでハイタッチをする姿がとても印象的でした。卒業してから、仲間同士が集まって余暇を楽しめる機会があるのは、とても良いことだと改めて感じる行事になりました。



その3 「同窓会総会」行いました。

同窓会行事がおこなわれた1月11日（土）の午後からホテルベルクラシックリアンにて、同窓会総会が行われました。2回生から4回生までの卒業生が集まり、同窓会役員が中心となり活気ある総会を行うことができました。平成31年度の事業報告や後の同窓会をどのようにしていきたいか等、様々な意見が出されました。



進路指導・卒後支援振興会について

本校在籍の全保護者・卒業3年までの保護者が加入している会で、在校中に年額20,000円の会費を納入していただき、本校の進路指導や卒後支援に役立てています。本校の卒後支援は進路指導係を中心に全校で行い、文書、訪問、相談、行事の4事業を行っています。

☆文書（便りによる支援）

■定期的に卒業生、家庭（保護者）へ便りを送り、情報の提供、行事の案内等を行います。

- ① 卒業生へ向けて年に2回「クローバーだより」（同窓会「クローバーの会」の会報）を発行します。各行事の案内が載っています。
- ② 家庭（保護者）へ向けて「振興会だより」を発行します。行事の報告、卒後支援、福祉サービスについての情報提供等が主な内容です。

☆訪問（巡回による支援）

■定期的に卒業生の進路先を訪問し、現況把握に努めます。また、卒業生、保護者、施設、職場等からの要請があれば、必要に応じて訪問し問題に対処します。

事務局より

2、3回生が千歳高等支援学校を巣立って、もうすぐ2、3年。そして、4回生が巣立って11か月が経とうとしています。学生時代もあっという間ですが、社会人になってからは、卒業生も、御家庭の皆様も、更に月日の流れの早さを感じていらっしゃるのではないのでしょうか。



18歳で高校を卒業し、19歳は社会人1年目、そして社会人2年目には成人を迎えます。成人を迎えると「障害基礎年金」の対象となります。各市町村区の年金窓口にご相談してみてください。

